



PROFILE

25歳。浜田小学校、第三中学校出身。
 2019年 全日本フェンシング選手権大会 フルレー個人 優勝
 2021年 東京2020オリンピック フルレー団体 4位
 2021年 全日本フェンシング選手権大会 フルレー個人 優勝
 2024年 フェンシングワールドカップ フルレー団体 準優勝
 2024年 パリ2024オリンピック フルレー団体 優勝



水戸市に凱旋した永野選手にインタビュー！

8月21日、表敬訪問に来てくださった永野選手にお話を伺いました。

決勝に出ることは想定していまし

決勝の重要な場面で、どのような気持ちで舞台に立ちましたか？

東京オリンピックに出場したときは初めての参加だったのでとても緊張しました。パリオリンピックでは、普段の練習から、本番の緊張を想定して、考えなくても動けるよう、練習を積み重ねました。本番では、練習したことを出すことに集中し、力を発揮することができました。

パリオリンピックにはどのような気持ちで臨みましたが？

だが、監督から告げられたのは、試合の2時間前でした。ここまで拮抗した状況での出場とは思っていなく、とても緊張しましたが、相手も緊張している中で、相手の動きを読みながら、自分から積極的に攻めていくことを意識しました。

オリンピックで金メダルを獲得までの道のりを教えてください。

フェンシングが好きすぎて、フェンシングがうまくなりたいたいという気持ちがとても強く、気づいたらオリンピックでメダルをとれるようになっていました。好きなことを見つけて、努力することが大切だと思います。

挫折しそうになったときはありますか？

何回もあります。フェンシングをするのが好きだったので、どうしても自分が今のような心境になっているのか考えて、解決する方法を見出していました。モチベーションが戻るまで、徹底的に考え、ただひたすら練習しました。

水戸の皆さんに一言、お願いします。

パリオリンピックでは、水戸の皆さんの応援のおかげで、金メダルという結果を出すことができたと思います。

4年後にはロサンゼルスオリンピックがあり、個人と団体でそれぞれ金メダルを獲得ことが目標です。2つの金メダルを獲得し、水戸に帰ってくるができるように頑張りますので、引き続き、応援をお願いします！

インタビューの様子は、こちらで見られます！



特集 発掘！ 水戸のお宝

誰かに話したくなる水戸の魅力

広報紙をとおして、水戸の魅力を知って、もっと水戸を好きになってほしい——
 そんな熱い思いを持つ水戸の魅力発見隊が「つい誰かに話したくなる水戸の魅力」をお伝えします！
 問合せ▶みとの魅力発信課(☎232-9107)

7月26日〜8月11日、フランス・パリを中心に、パリ2024オリンピックが開催されました。
 フェンシング男子フルレー団体に出場し、金メダルを獲得した永野雄大選手。永野選手は水戸市出身で、浜田小学校、第三中学校で学びながら、フェンシングに情熱を燃やしてきました。永野選手は、元フェンシング選手である父親の義秀さんの影響で、小学1年生の時にフェンシングを始めました。練習や試合をする中で、得点を取るためにランンプがつくのが楽しくなり、フェンシングの面白さに気づい

てからは、自身の能力がどんどん開花していきました。
 帝京高校を経て中央大学在学中には、全日本フェンシング選手権大会男子フルレー個人で初優勝し、その後も国内外で輝かしい成績を収めました。
 令和3(2021)年の東京オリンピックに出場した際は、惜しくも4位となり、メダルには届きませんでした。
 パリオリンピックでは、決勝のイタリア戦の終盤、重要な局面で出場し、相手との点差を広げ、金メダル獲得に大きく貢献しました。

TREASURE

パリオリンピック
金メダリスト
永野雄大選手の出身地

永野選手、金メダル獲得おめでとうございます！

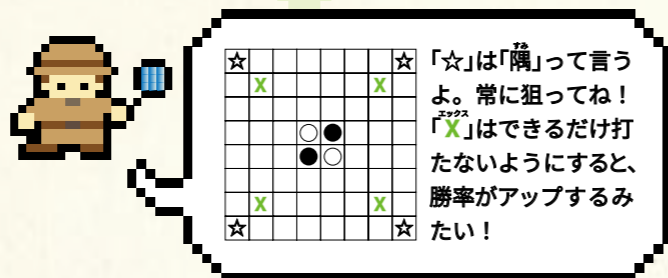
オセロ発祥の地

オセロの原型が生まれたのは、終戦直後の昭和20(1945)年9月。旧水戸中学校(現水戸一高)に通っていた、長谷川五郎さんが発案しました。相手の石を囲んだら取る囲碁の碁石を使い、相手の石を挟んだら取るというルールを思いつきます。友人の間で話題となり、休み時間に流行っていきました。

最初のオセロは、挟んだら黒石、白石を全部その都度取り変えていましたが、手数がすすむにつれて大変な作業になるので、ひっくり返せるようボール紙を使用するようになりました。

長谷川さんは、就職し、結婚して、妻や会社の社員などに、囲碁や将棋などのルールを教える機会がありました。しかし、教えていた妻や社員は、その難しさにすぐに挫折してしまいます。そこで、かつて発案したオセロを思い出します。牛乳ピンのふたで駒を作り、妻に示すと夢中になり、オセロ道具一式を会社へ持っていくと、社員たちはオセロを楽しむようになりました。

その後、試作品を玩具メーカーに持ち込み、昭和48(1973)年4月29日に「オセロ」という登録商標で販売され、人気が広がっていきました。



オセロの石のヒミツ

囲碁の碁石からオセロの原型が生まれたあと、長谷川五郎さんは飲んだ牛乳ピンのフタを利用して、オセロの石を作りました。今の学校給食は牛乳パックになっていますが、当時は牛乳といえばビンであり、フタはプラスチックではなく紙でした。

牛乳ピンのフタとオセロの石を
重ねてみると...



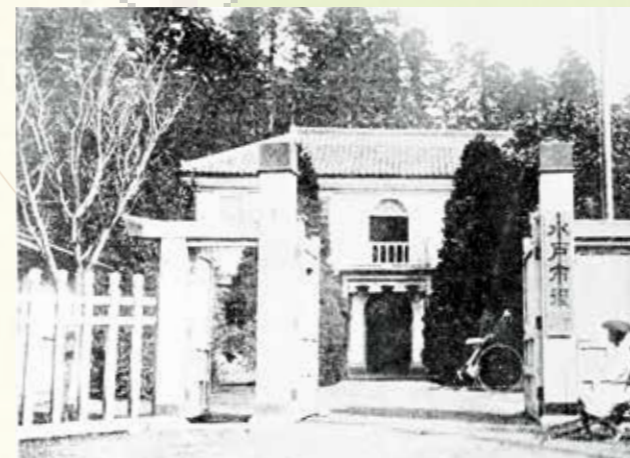
オセロの名前の由来

「オセロ」の名前の由来は、シェイクスピアの四大悲劇のひとつ「オセロ」。

黒人の将軍・オセロと白人の妻・デズデモーナを中心に、敵味方がめまぐるしく寝返るというストーリーに、黒白の石がひっくり返りながら形勢が次々変わっていくゲーム性をなぞらえて命名されました。名付け親は、長谷川五郎さんの父、茨城大学名誉教授でイギリス文学者だった長谷川四郎さんです。

盤面は、戯曲「オセロ」の戦いの舞台、緑の平原をイメージしてつくられたと言われます。

最初に誕生した市



当時の水戸市役所

明治維新後、明治4(1871)年に、藩を廃止し、府や県とする廃藩置県が行われ、水戸県となりました。同年11月13日には、笠間県など、数県を合わせて茨城県が誕生しました。

明治22(1889)年4月1日、横浜市など30市とともに全国で初めて市制を施行。市制施行に際して、市としての基準の人口(25,000人以上)に達していなかったため、上市、下市のほか、常磐、細谷、吉田、浜田4か村の各一部を合併し、水戸市が誕生しました。

この時の市域面積は、6.17平方キロメートル、人口は、25,591人。市役所は、はじめ鉄砲町(現在の五軒町付近)に置かれていましたが、その後、柵町(現在の三の丸)に移転しました。

明治22年4月1日に市制施行した市のうち、関東では水戸と横浜だけだったんだ!

日本のビスケット発祥の地

水戸藩士で、蘭医の柴田方庵が長崎留学中に、オランダ人からビスケットの作り方を学び、安政2(1855)年2月28日に、その作り方を書いた「パン・ビスコイト製法書」を、水戸藩の萩信之介に送った史実があります。「ビスコイト」とはポルトガル語で、ビスケットのことです。

このことを日記に書き記した『方庵日録』は今でも残っており、これが日本でビスケットがつけられたことが明確に分かる最も古い記録です。この史実などに基づき、全国ビスケット協会では、毎年2月28日を「ビスケットの日」としています。



方庵日録とそれに基づいて試作されたビスコイト(イトウ製菓(株)製作)
提供: 全国ビスケット協会

伝来当時のビスケット(ビスコイト)は、今のビスケットとは違うんだね!

水戸市役所



おっ!
こんなところに
大きなオセロが!



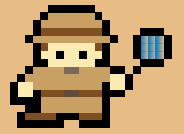
マス数が違う!
わお、鳥が来た!

バタバタ〜
登場!
水戸市の鳥
ハクセキレイ

私「ハクセキレイ」がご案内します!
8×8マス盤は、本格的にお楽しみになりたい方に。
4×4マス盤は、初めてオセロをする方や小さいお子様に。
6×6マス盤は、ちょっとお時間ある方に。
おすすめですよ!!

水戸のまちで 「水戸っぽさ」がし

水戸の魅力発見隊は、
「水戸っぽさ」がある
ものを探しに行くよ
うです



市内探検中…



水戸駅周辺～南町



マンホールに梅の
花が書いてある!



こっちは色がつい
てるよ。



ここにはみとちゃん
のマンホールが!



市内には、水戸な
らではのマンホール
がいろいろある
んです!

歩いていると



水戸駅



納豆だ〜



ん、何か書いてあ
るぞ。「水戸納豆が
有名になったのは
明治時代水戸駅
ホームで土産とし
て販売されるよう
になってから」な
んだって!



ネバ〜
ギブアップ!



南町



あっ!黄門さまだ!



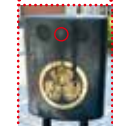
ん?横の印籠にボタンがつ
いてる!押してみよう〜



黄門さまがしゃべった!



実は、四季によって話す
言葉が違うんですよ



ポチッ

CONTINUE?

▶YES NO

水戸にはまだまだお宝(魅力)
があるのです。

